



【熱中症検討会】

職場における熱中症対策義務化への対応

トヨタ自動車株式会社
担当課長 浅野朝郎

当社の概要

- ◆所在地 : 愛知県豊田市トヨタ町 1
- ◆創立 : 1937年(昭和12年)8月28日
- ◆資本金 : 6,354億円 (2024年3月現在)
- ◆生産拠点 : 国内11工場, 海外53工場
- ◆従業員数 : 70,224人(単独 2024年3月現在)
(連結 380,793人)
- ◆事業内容 : 自動車の生産・販売 等

■ トップの健康宣言

トヨタ自動車 健康宣言 ～ 健康第一の会社を目指して ～

心身の健康は「良い仕事をするための原動力」であり、「社員一人ひとりの幸せ」にとって、また家族にとっても大変重要です。

在職中に元気でやりがいを持って働き、定年後も豊かな人生を送ることを願っています。失敗を恐れず「バッターボックスに立ってチャレンジ」する当社の風土は、健康面にも通じることであり、一人ひとりの「より良い生活習慣改善へのチャレンジ」をトヨタは積極的に支援し、健康保険組合と連携した『健康増進・疾病予防活動』に取り組むことをここに宣言します。

2017年9月
トヨタ自動車株式会社



バッターボックスに立ち続けるためには
健康な心と体づくりから

豊田章男

社長の健康安全メッセージ

思いやりの気持ちを大切に、心身の健康を保ち、安全で快適な職場を創っていきましょう

佐藤恒治

※2024年1月安全伝承に向けたコメント

■MISSION

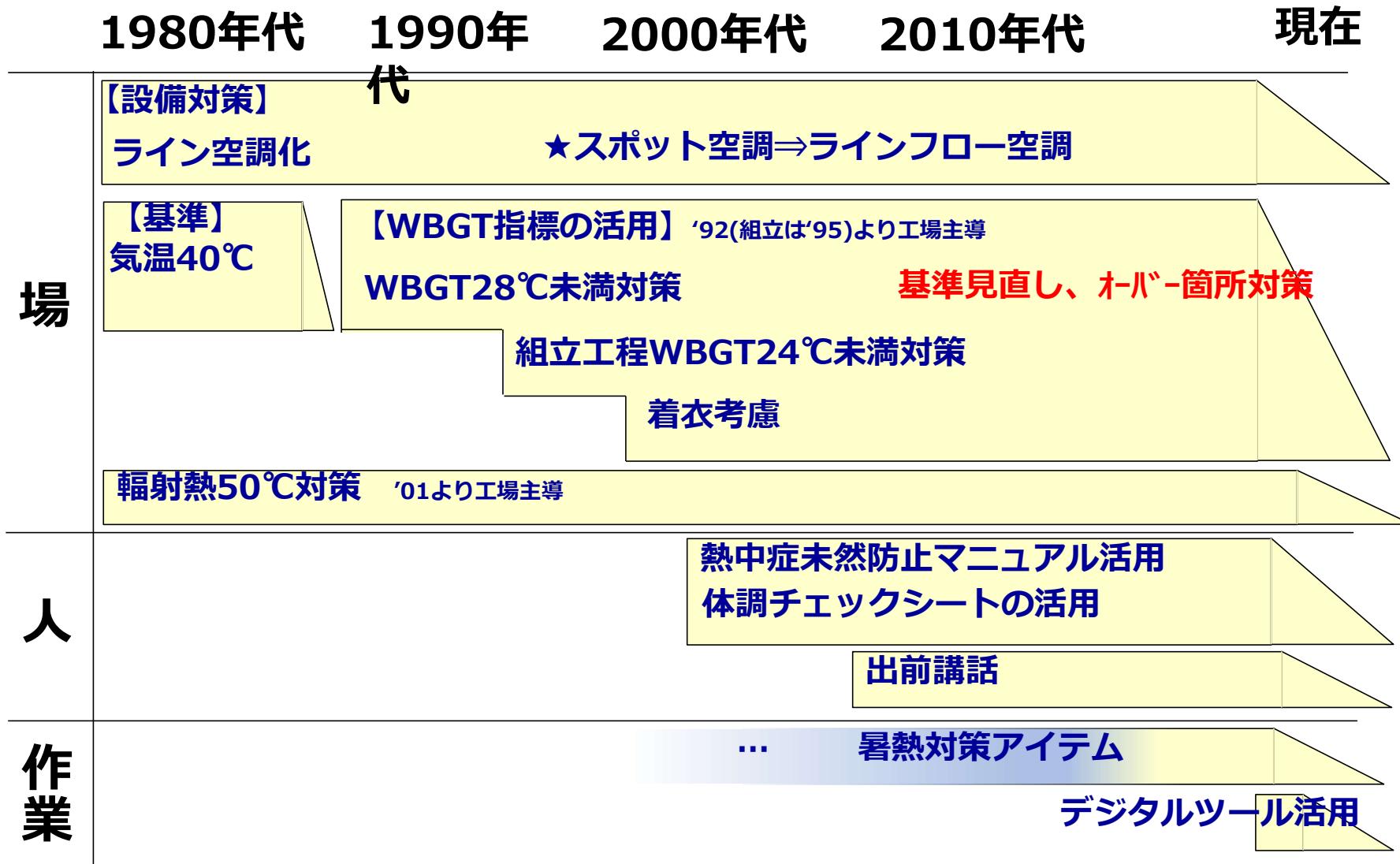
わたしたちは、幸せを量産する。



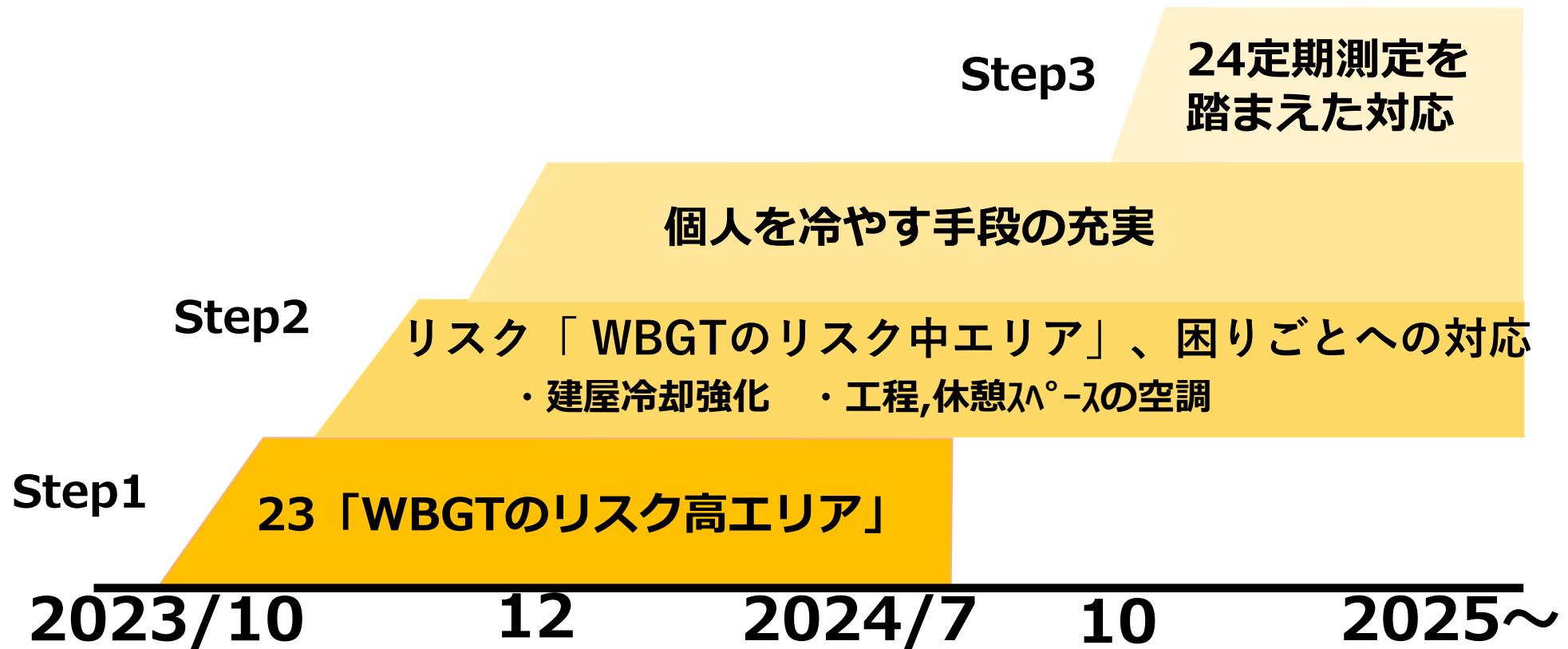
社長 佐藤 恒治

トヨタの最大の財産はやはり「人」です
トヨタで働く一人ひとりの幸せや、
550万人の幸せがあってこそ「幸せの量産」
これからも一人ひとりが「クルマづくり」に関わることで、
楽しさ・幸せを感じてほしい

熱中症撲滅への取組み



熱中症に対する『現在』と『これから』



熱中症対策

1:1次予防（未然防止）

- 1-1:熱中症に対する**知識の獲得**と強化
- 1-2:働きやすい**環境の整備**（熱源、太陽、空調、休憩場所等）
- 1-3:**飲水しやすい環境の整備**（場所、時間、ライン内水筒置場、あめ等）
- 1-4:健康管理の充実（**日々の体調確認**、就業配慮等）
- 1-5:個を**冷やす手段**の充実

2:2次予防（早期発見・早期対応）

- 2-1:救急隊到着まで
- 2-2:**すばやく搬送するには**(到着番地、Dr/Nsバック)

1:1次予防（未然防止）

1-1:熱中症に対する知識の獲得と強化(マニュアル)

【管理監督者 対象】

<はじめに>

普段からメンバーの体調管理、面倒見いただきありがとうございます。

日々コミュニケーション取りながら一人ひとりがいきいきと働けるようご尽力いただいておりますが例年暑い時期(5月上旬~9月下旬ごろまで)になると熱中症(疑い含む)に関連した体調不良が多く発生しています。

そのため、普段以上に面倒見が重要となってくるので、本マニュアルを作成しました。

職場メンバー一人ひとりが自分の体調管理ができるよう、職制の皆さんもメンバーにより寄り添って元気にしてもらおう、本マニュアルを活用いただき熱中症(疑い含む)のゼロ達成/継続を目指しましょう。

<目次>

- | | |
|---------------|----------|
| 1. 熱中症とは、主な症状 | P. 1 |
| 2. 未然防止 | P. 2 ~ 6 |
| 3. 救急処置方法 | P. 7 |



安全健康推進部

2025年4月改訂

2. 未然防止について

2) 作業開始前の体調確認

■作業開始前に下記のチェックを行い、
作業者一人ひとりの体調把握をお願いします。
※「健康自己管理表」「健康自己管理一覧」の活用を推奨

- ①めまいはないですか？
②普段より汗の量は多くないですか？
③頭痛、吐き気はないですか？
④風邪の様な症状はないですか？
⑤下痢はないですか？
⑥筋肉の硬直やけいれんはないですか？
⑦朝食 就業時間前に食事を摂取しましたか？
⑧飲酒 前日の飲酒量は飲まないか、1合までですか？
⑨睡眠 前日は熟睡できましたか？（すっきり目覚めましたか？）

①～⑥に該当がある場合、健サボへ相談ください。

⑦～⑨が2日以上続いた場合、指導をお願いします。

2. 未然防止について

3) 体調不良者の早期発見

■十分なコミュニケーション、こまめな職場巡視 等による体調不良者の早期発見をお願いします。
(大勢の前では体調不良を申告できずにいる方もみえます)

早め、早めの対応で、重症化を防ぎましょう！

【体調の変化をとらえるには?】

作業者からの回答や様子だけでなくツールを活用して客観的に把握することも効果的です。
ツール活用によりコミュニケーションのきっかけになります。



【ツールの特徴】

検知方法	熱	生体情報(心拍)
原理	皮膚などに接しているセンサーから熱をモニタリング	光の反射や電気パルスから心拍を取得し、体調モニタリング
特徴	汗をかくのが苦手(体温不覚知)な人や復職者の初期に起こっている。軽い。	幅広い適用可能(学年問わず利用できる)。普段の体温を把握できる
注意点	熱(体温)が上がらない症状(脱水症など)は後知題しい	無自覚な体温変化も捉えることの理解が必要
製品例	カナリア	Smartfit, ハモンパンド

1. 熱中症とは？ 主な症状について

1) 熱中症とは

■気温、湿度が高い環境の中で、身体に熱を持ち、体温が上昇し、**身体が熱や体温の上昇に対応できなくなり**引き起こされる様々な症状を言います。
(エンジンの発生熱量が冷却性能を上回ってしまうエンジントラブル車のオーバーヒートと同じです)

早めの対応で、重症化させないことが重要です！
(最悪の場合、死に至ることもあります！)

2) 主な症状

【軽症】	【中程度】	【重症】
・手足のしびれ ・めまい、だるさ ・筋肉のむら返り ・気分が悪い、ボーッとする	・頭痛 ・吐き気、嘔吐 ・体がだるい ・意識がなんとなくおかしい	・意識がない ・けいれん ・呼びかけて返事がおかしい ・体が熱い

(引用: 热中症環境保健マニュアル2014 (環境省) 一部改変)

症状は短時間でも変化します
軽症だからと思わず、早め、早めの対応をお願いします。

2. 未然防止について

1) 社内の発生傾向と対策

(1) 環境面

①気温35°Cを超えた辺りから、多く発生
気温35°Cを超える日は特に注意！

②送風ファン、空調等のメンテナンスの確認

⇒空調フィルターの交換は必要ないですか
⇒ダクト向きは正しいですか
(ラインフローを妨げていませんか)
⇒ダクト位置は適切ですか
(作業位置変更等に対応できていますか)

③部または課安全衛生管理者の実施事項

自職場の暑熱リスクを把握して関係部署と協力しリスク管理及びリスク低減を推進する。
設備対策評価について(を参照)。

2. 未然防止について

(2) 体調面

①前日または就業前の体調不良

体調不良時はすぐ上司に相談！
(体調不良を重症化させない)

②暑熱順化

梅雨から夏期になる時期、夏期連休中は、計画的に、
暑熱順化期間を設ける。

③休み明け、特に夏期連休明け後1週間、多く発生！

(週明けの月、火に発生する傾向あり)
休日明けの勤務を考え、休日の過ごし方を工夫し睡眠時間を十分確保！

④熱中症に過去なったことのある方

発症しやすい傾向にあるので、特に注意！

⑤朝食の未摂取

朝何か食べるごとを、まず習慣化！

⑥未経験者には体調面での声かけを重点的に実施

期間中は未経験者の健康管理票へ

I.朝食摂取の有無、

II.飲酒の状況(1合まで/日)

III.十分な睡眠

の3つを重点に織り込む等、健康管理の指導を行なう。

※健康自己管理表の活用を推奨

- 3 -

<目次>

1. 熱中症とは、主な症状

P.1

2. 未然防止

P.2 ~ 6

3. 救急処置方法

P.7

3. 救急処置方法について

Check1 熱中症を疑う症状がありますか？

■手足が熱い、めまい、立ちくらみ、筋肉のむら返りがある、気分が悪い、ボーッとする

↓頭がんばらない。吐き気がある。体がだるい、意識が何とかおかしい

■頭が熱い、体が熱い

Check2 暑気がありますか？

■体温が35°C以上あります

※体温計で測定して下さい

はい

涼しい場所へ避難し、服をゆるめ体を冷やす

※運動を控え、水分を多く飲む

※涼しい場所へ避難して下さい

いいえ

Check3 水分を自力でとれますか？

※水分、塩分を摂取

はい

観察目安15分以内

※経過観察中、医療機関搬送中は、一人にしない

Check4 症状がよくなりましたか？

■意識がはっきりしている

■白で水分が分り切れる

■体の熱が下り落ち着きがある

はい

いいえ

※夜間・休日

■救急受付
・外傷部
・外傷部

■健サヘル
・健サヘルへ連絡(登録日)

はい

いいえ

そのまま安靜にして十分に体温をじょうゆる

※和む

※水分を多く飲む

・体温が再発した場合は、直ちに連絡

1-1:熱中症に対する知識の獲得と強化

2025/04 法改正対応 (マニュアル更新)

▼熱中症マニュアル <STOP! 热中症> 更新

<早期発見>

2. 未然防止について

3) 体調不良者の早期発見

■十分なコミュニケーション、こまめな職場巡視 等による体調不良者の早期発見をお願いします。
(大勢の前では体調不良を申告できずにいる方もみえます)

早め、早めの対応で、重症化を防ぎましょう！

【体調の変化をとらえるには?】

作業者からの回答や様子だけでなくツールを活用して客観的に把握することも有効です。

ツール活用によりコミュニケーションのきっかけになります。



【ツールの特徴例】

検知方法	熱	生体情報(心拍)
原理	皮膚などに接しているセンサーから熱をモニタリング	光の反射や電気パルスから心拍を取得し体調モニタリング
特徴	汗をかくのが苦手(熱化不足気味)な新人や復職者の初期に向いている。軽い。	幅広く適用可能(学習機能があれば普段と違う体調も把握できる)
注意点	熱(体温)が上がらない症状(脱水症など)は検知難しい	無自覚な体調変化も捉えることの理解が必要
製品例	カナリア	Smartfit, ハモンバンド

<体調指導>

2. 未然防止について

4) 作業者への体調指導

①作業中は、定期的(こまめに)水分+塩分をとる

[勤務時間中は推奨として、500ml~1000ml/日の水分(0.1%~0.2%の塩分含む)を摂取(スポーツ飲料など)]

②朝食は、必ず食べる

[朝ご飯を食べることで、睡眠時に失った水分・塩分を補給]

③飲酒後は水分を多く摂り、脱水に注意

[飲酒により、飲んだ以上の水分が体から出る
飲んだ後は、水分をしっかり摂る]



④普段から十分な睡眠、休息をとる

[睡眠不足により体温コントロールが低下
十分な睡眠時間を確保し、脳と体を回復]

⑤体調不良時は、早めに上司に相談

[体調不良を重症化させないことが重要
我慢せず、すぐ上司に相談]

5) 热中症を疑う症状があった場合

■管理監督者は、直ぐに各事業場健サポへ連絡し受診させる。夜間休日で公設救急車出動が必要な時は、警備室へ連絡。

固定電話内線 ⇒ 119
会社携帯から ⇒ [こちら](#)

<手順>

3. 救急処置方法について

Check1

熱中症を疑う症状がありますか？

軽
・手足がしびれる、めまい、立ちくらみ、筋肉のこむら返りがある、気分が悪い、ボーッとする
↓
・頭ががんがんする、吐き気がある、体がだるい、意識が何となくおかしい
重
・意識がない、体がひきつる、呼吸掛けても返事がおかしい、体が熱い

いいえ
・応答が鈍い
・言動がおかしい

救急車を呼ぶ
内線：119

はい
※応急処置
体を冷やす(首、わき、股)



涼しい場所へ避難し、服をゆるめ体を冷やす

※返事がおかしい、ぼーっとしているなど、普段と様子が違う場合も異常ありとして取り扱う

いいえ

Check3
水分を自力でとれますか？

※水分、塩分を補給
はい
※経過観察中、医療機関搬送中は、一人にしない

「**昼間**」
健サポへ

Check4
症状がよくなりましたか？
・意識がはっきりしている
・自力で水分が充分に取れる
・体の熱が下がり落ち着きがある

はい
※水分、塩分を補給
観察目安15分以内
※経過観察中、医療機関搬送中は、一人にしない

「**夜間・休日**」
健サポへ

本人が倒れたときの状況を知っている人が付き添って、発生時の状況を伝えましょう

・救急要請
・外部医療機関
・健サポへ連絡
(翌営業日)

そのまま安静にして十分に休息をとり帰宅
<帰宅時の対応>

・水分や食事を積極的に取り、休養に努める。
・体調不良が再発した場合に備え、上司と連絡先を交換しておく。
・体調不良が再発した際は上司へ連絡し、医療機関を受診する。受診した際は安全衛生に連絡する。

(引用：熱中症環境保健マニュアル2022 (環境省) 一部改変)

1-1:熱中症に対する知識の獲得と強化：熱中症警戒アラート

▼熱中症警戒アラート ※安健部から全組長（CC：全部長）+関係者への啓発メール

熱中症警戒アラートとは、環境省・気象庁が提供する、極めて高い暑熱環境が予測される際に、暑さへの「気づき」を呼びかけ、熱中症予防行動を効果的に促すための情報。

アラートを有効に活用し、熱中症予防をお願いします

- ・組長以外でアラート情報が必要な方の[メールリスト作成](#)（事務局）

※各事業場独自の取り組みとの錯綜などの理由で、組長へのアラート情報が不要の事業場については別途連絡ください。

24年～

安健部



全部長

全組長

関係者

【熱中症警戒アラート：メール】
WBGT33℃以上と予測される
当日8:00頃発信



【熱中症警報：T-wave】
気温35℃以上と予測される
前週金曜日17:00までに発信

最高気温が35℃を超える日が予報されています（日本気象協会より参照） 近年の傾向から、35℃を超えると夏場休憩不足や熱中症発症の傾向が強まります 部長の皆様への注意喚起をよろしくお願ひいたします				
※最高気温を記入				
30日 （月）	31日 （火）	1日 （水）	2日 （木）	3日 （金）
▼豊田市エリア 35℃	34℃	31℃	29℃	29℃
▼田原市エリア 31℃	32℃	30℃	29℃	29℃
▼名古屋市エリア 34℃	34℃	32℃	29℃	30℃
▼静岡県浜松市エリア 31℃	33℃	27℃	28℃	29℃
▼東京都文京区エリア 32℃	33℃	28℃	27℃	30℃

想い：職場へタイムリーに展開、作業者に近い組長へ発信し
職場の面倒見強化に繋げたい（部長はCCで展開）

発表時の予防行動

1. 気温・湿度・暑さ指数（WBGT）を確認
2. 热中症リスクの高い方に声かけ
3. 「熱中症予防行動」を普段以上に実践

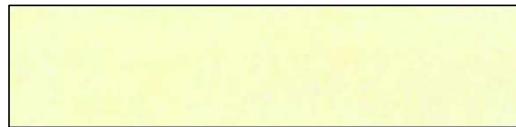
「熱中症予防行動」とは
1. 暑さを避けましょう
2. 適宣マスクを外す
3. こまめな水分補給
4. 日頃から健康管理
5. 暑さに備えた体作り

1-1:熱中症に対する知識の獲得と強化：尿カラーチャート

▼尿カラーチャートの枚数確認・掲示（任意）

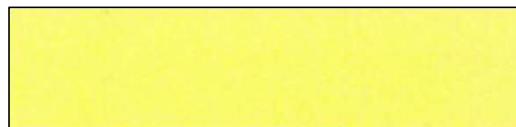
※内容は昨年と変更ないため、継続で掲示している場合はそのまま使用ください。

脱水レベルを尿の色によって判定し、注意喚起しましょう。



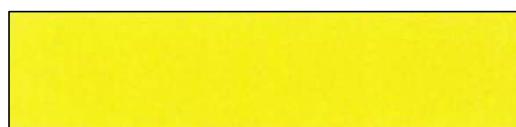
【問題なし】

普段通りに**水分**を取りましょう。



【問題なし】

問題ありませんが、**コップ1杯程度**の水分補給をしましょう。



【軽度の脱水症状が認められます】

1時間以内に**250mlの水分**補給しましょう。

屋外にいる場合や汗をかいている場合は、**500mlの水分**補給をしましょう。



【脱水症状が認められます】

今すぐ**250mlの水分**補給しましょう。

屋外にいる場合や汗をかいている場合は、**500mlの水分**補給をしましょう。



【危険な状態です】

今すぐ**1000mlの水分**補給しましょう。

この色より濃い場合や赤／茶色が混じっている場合は**すぐに病院受診**しましょう。



出展：厚生労働省ホームページ「尿の色で脱水症状をチェック」

1-1:熱中症に対する知識の獲得と強化

社内講演会



ポスター



Web配信動画



1-2:働きやすい環境の整備

熱源を撤去、減少、代替、

- ・炉・油圧ポンプ等の廃止、断熱、省力電動モーター化
- ・常時運転から間欠化運転へ、容量の最適化、
- ・(熱源)機械類の排除、運転時間の短縮、

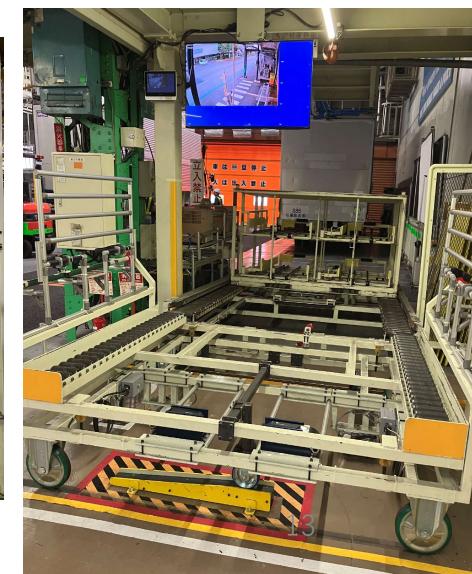
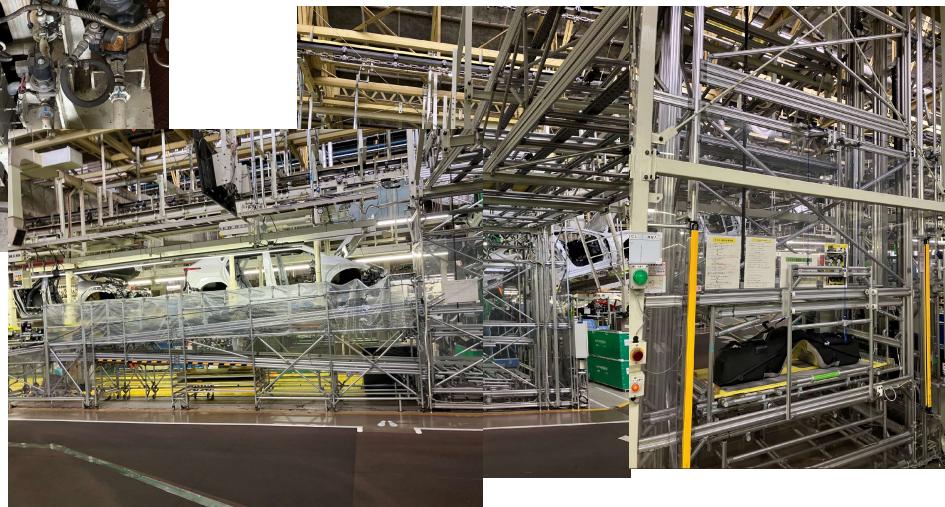
断熱



間欠運転



動力を使わない搬送



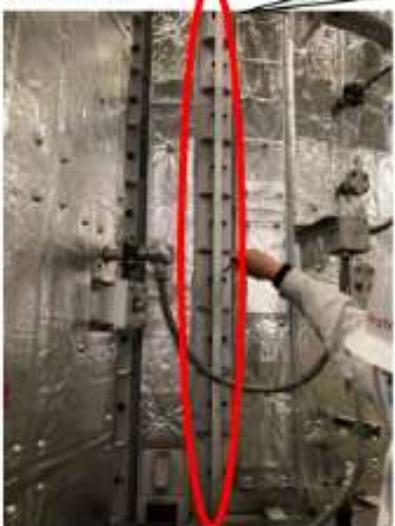
1-2:働きやすい環境の整備

熱源を撤去、減少、代替、

事例) 断熱工事における詳細仕様差の影響

TNGA#4ライン熱処理炉 リブ部分の断熱材追加工事

施工前



リブ部分 (面積比率ではたった5%程度)



施工後



1-2:働きやすい環境の整備

油圧ユニットの間欠運転化

油圧ユニットを常時運転

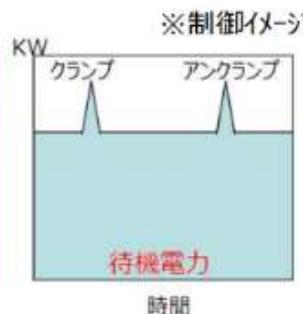
【対象設備】

- ・治具クランプのみ油圧を使用している設備

【狙い】

- ・油圧ユニットは運転準備ONで常にモーターが動作、待機電力大
- ・省エネ油圧ユニット（インバータモーター）で使用電気量低減

【油圧ユニット(従来)】



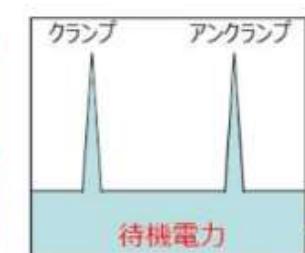
油圧ユニットを間欠運転化

【油圧ユニット(採用品)】

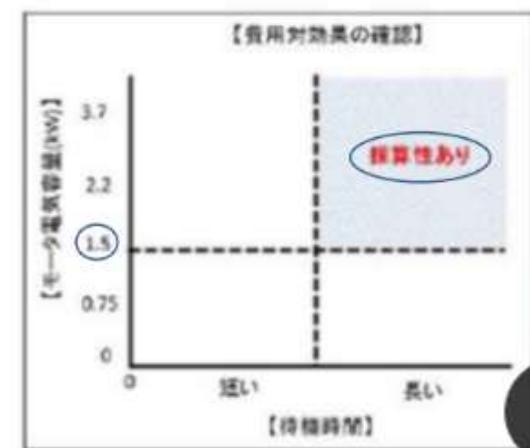
- ・ダイキン工業製エコリッチ
(高効率IPMモーター採用)

【採算性】

- ・待機時間が長く、且つ
モーター電気容量1.5kW以上
で回収目途付け



▲60%



1-2:働きやすい環境の整備（空調、休憩場所等）

空調設備の整備



スポット空調の設置・増設

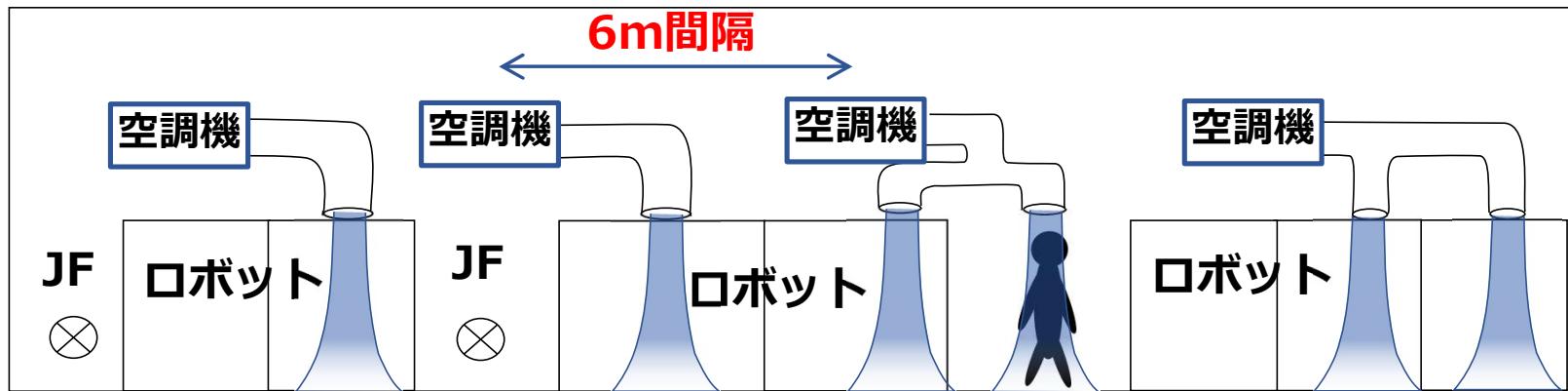


作業ゾーンでの空調整備

1-2:働きやすい環境の整備（空調、休憩場所等）

現状

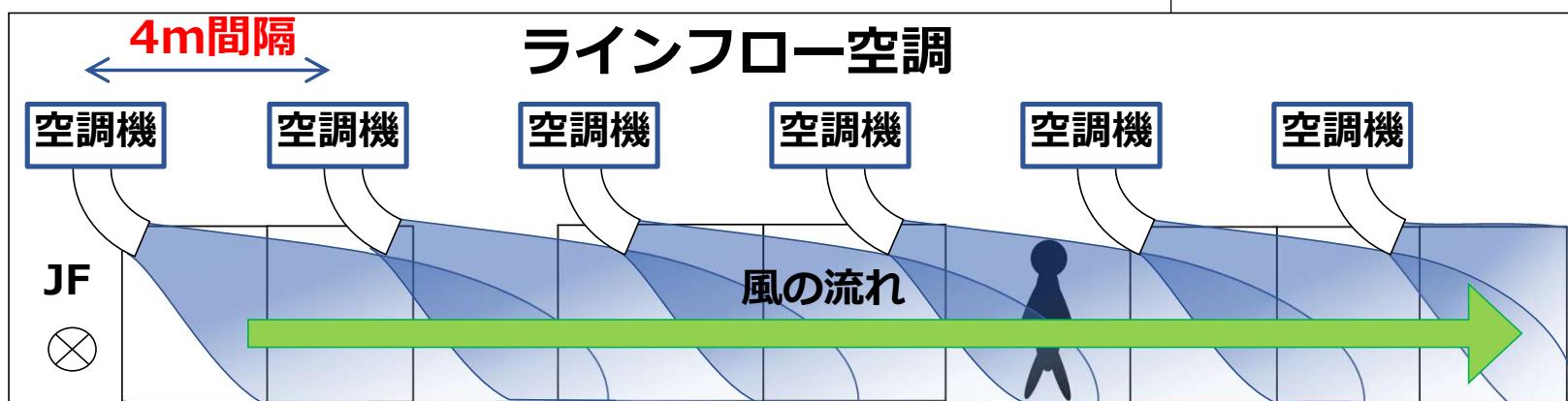
- ワークセット位置だけ空調が当たるスポット空調



トライ内容

- 空調のラインフロー化（風の流れを統一）
- 空調機の増設（6m間隔→4m間隔）

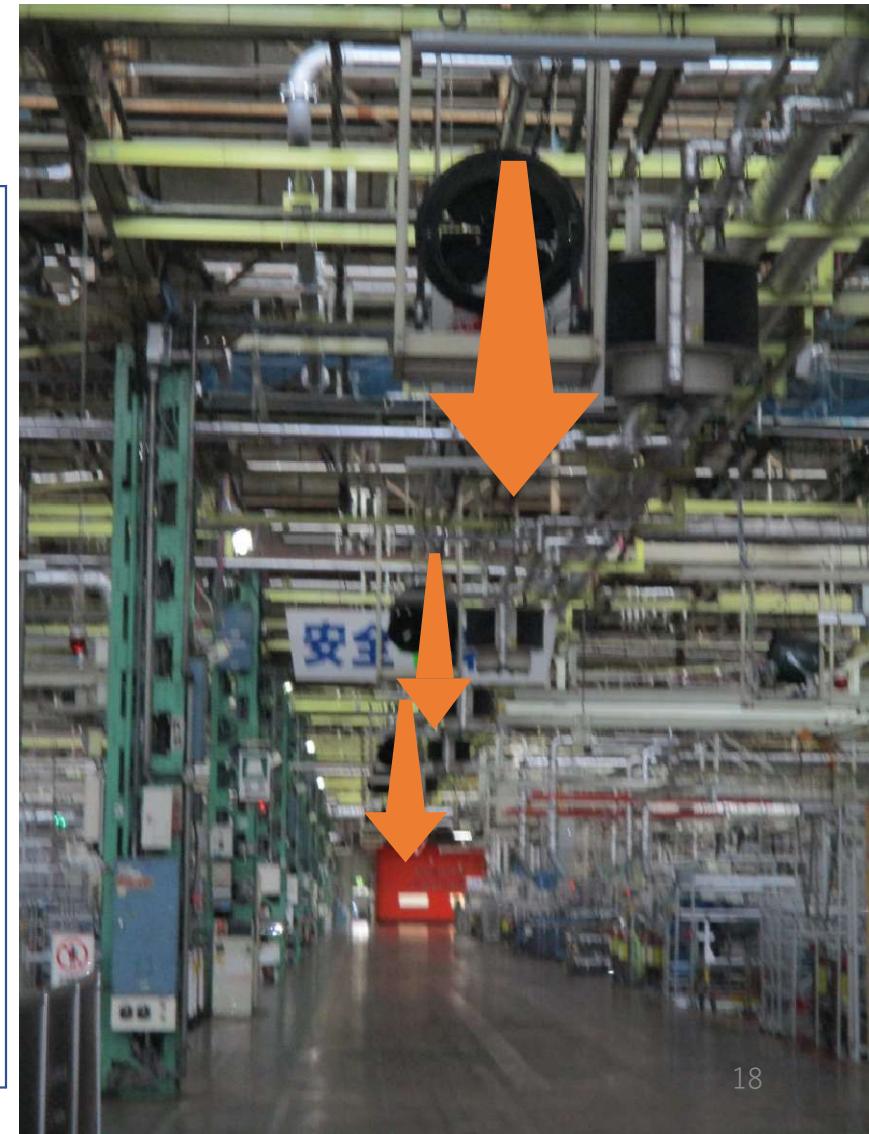
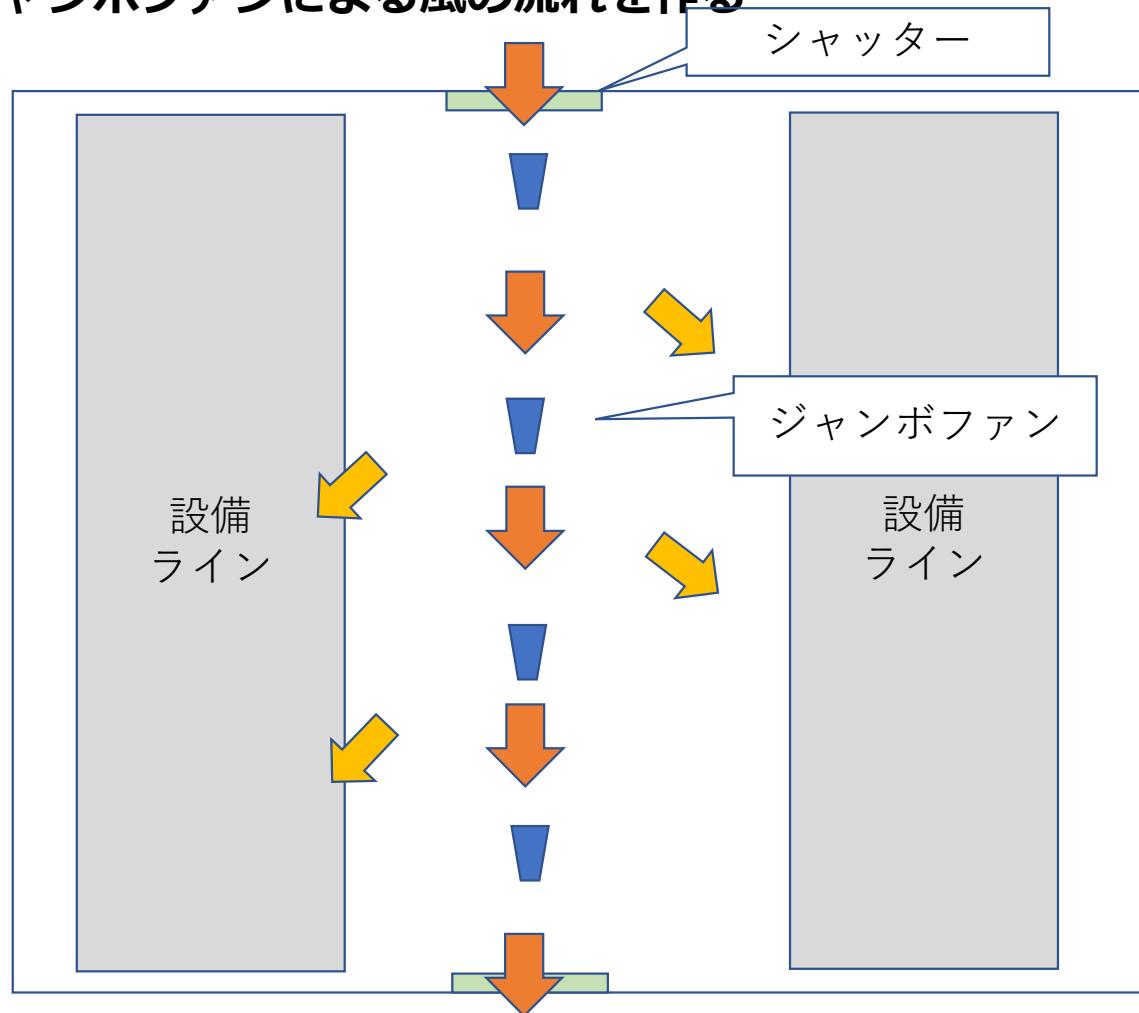
工程全体を涼しく



1-2:働きやすい環境の整備（空調、休憩場所等）

全体換気

ジャンボファンによる風の流れを作る



1-2:働きやすい環境の整備（空調、休憩場所等）

1:熱源の遮熱・冷却

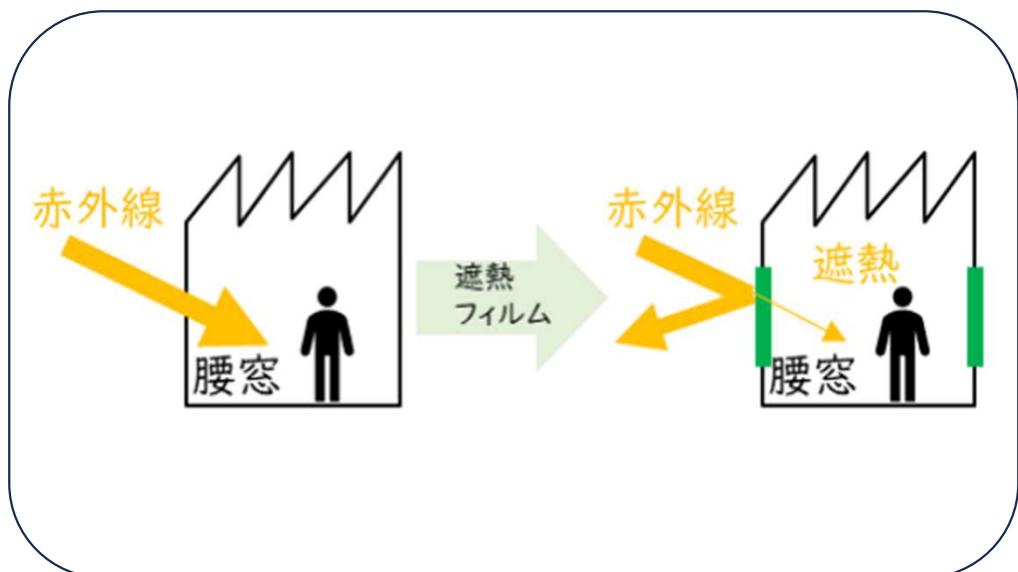


2:自動化

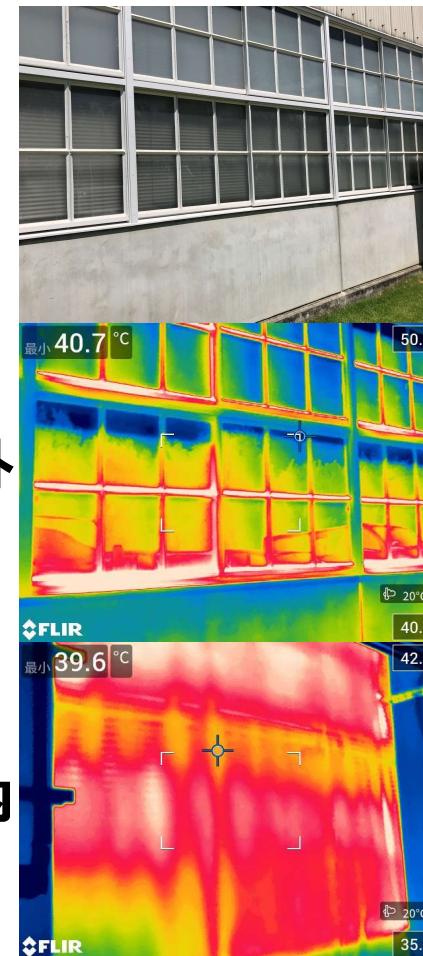


1-2:働きやすい環境の整備（空調、休憩場所等）

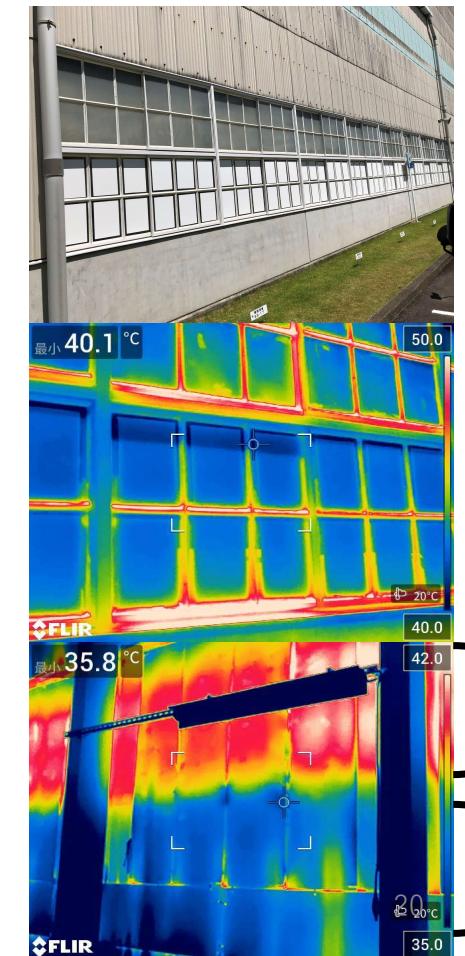
遮熱フィルム（全鋸屋根工場 腰窓）



未施工エリア

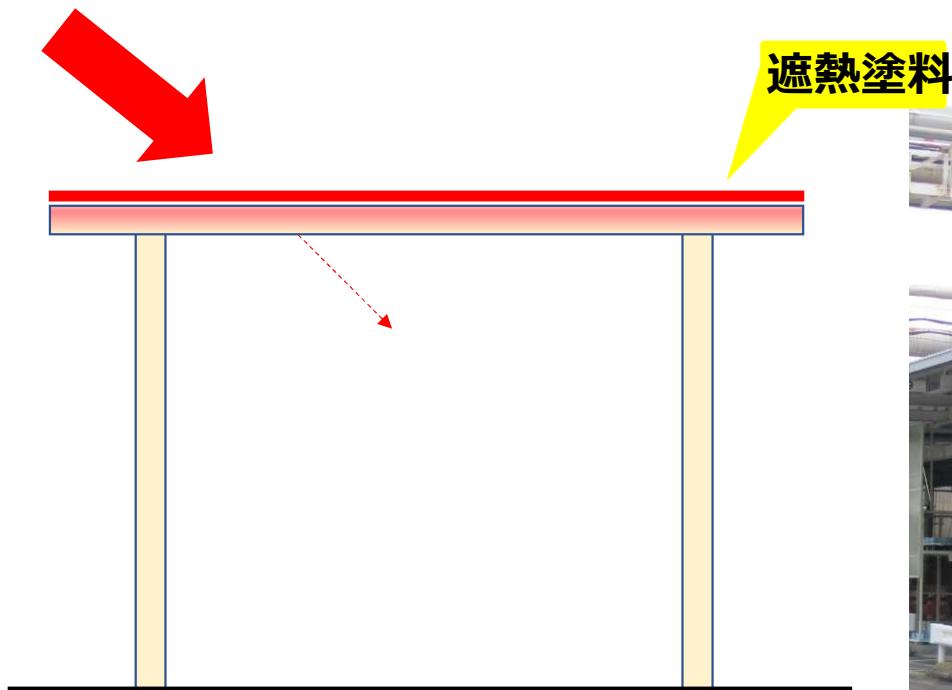


施工エリア



1-2:働きやすい環境の整備（太陽光の断熱）

遮熱塗料を屋根に塗ることで、太陽によって温められた屋根の熱を遮断する



1-2:働きやすい環境の整備（太陽光の断熱）



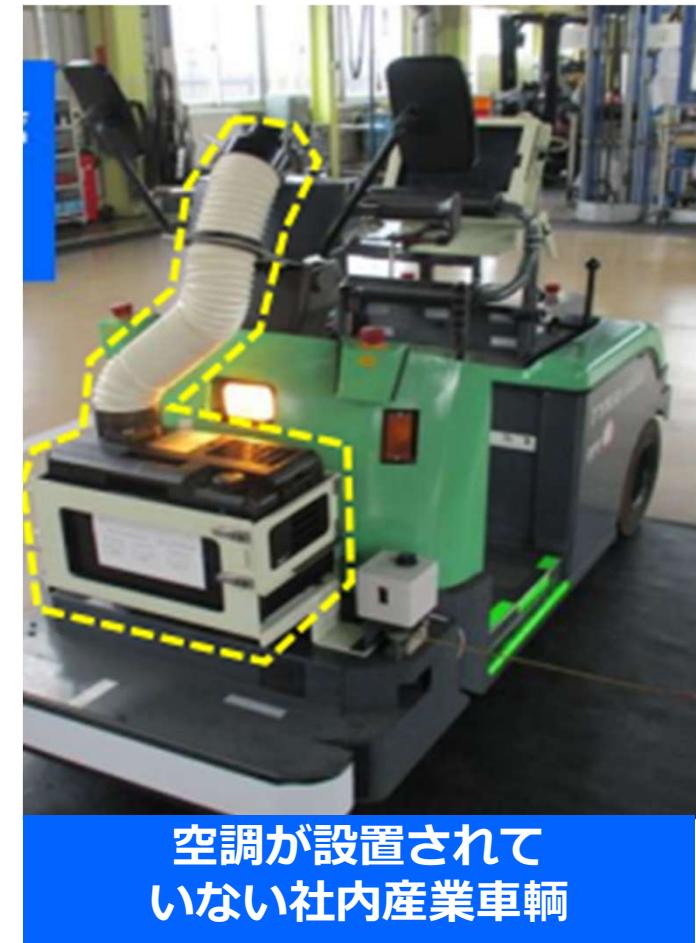
上屋の整備

1-2:働きやすい環境の整備（空調等）

リフトクーラー製品化



安全性/快適性/省エネ性/耐久性を兼ね備えた
フォークリフト専用クーラーを導入



空調が設置されて
いない社内産業車両

屋外や空調がない場所を走行する車両への空調設置

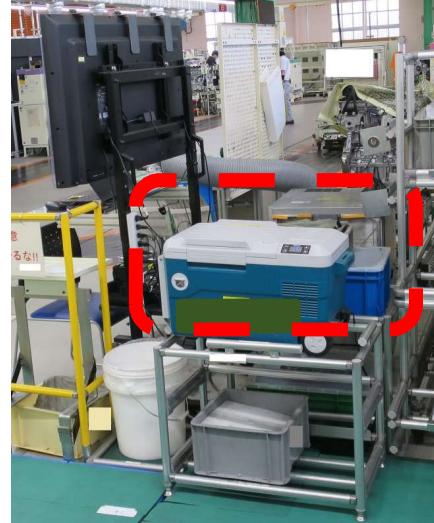
1-3:飲水しやすい環境の整備 (場所、 ライン内に水筒置場、 時間等)



冷蔵庫



水筒置き場



冷蔵機能付き
クーラーボックス



仕事場近くで、簡単に、気軽に飲水できるよう環境を整備

1-3:飲水しやすい環境の整備（場所、**塩飴提供**、時間等）



1-4:健康管理の充実（日々の体調確認、就業配慮等）

2021-22年通院疾患と熱中症発生リスク

通院疾患	オッズ比 (p値)	P<0.05を有意な差があると見る
高血圧	0.6 (p=0.273)	
高脂血症	0.8 (p=0.832)	
糖尿病	1.1 (p=0.522)	
腎疾患	2.6 (p=0.116)	
睡眠時無呼吸	3.7 (p=0.106)	
癌	1.2 (p=0.556)	
皮膚疾患	2.1 (p=0.106)	

有意差なし

生活習慣病を含めた表記の疾患有無での熱中症発生に差を認めない

理由

「確実な定期健診実施」「適切な事後措置」「日々の体調確認」等
が寄与したと考えられる

1-4:健康管理の充実 (日々の現場状況)

WBGTモニター・看板



1-4:健康管理の充実（日々の体調確認、就業配慮等）

期間: 5/1~9/30

一月 熱中症予防 健康自己管理票

所属	従業員コード	氏名	年齢	性別
室・課	G・組			

◆熱中症・夏期体調不良の防止には、日々の健康習慣がとても重要です。
特に、朝食・飲酒・睡眠の生活習慣を整えることが予防へとつながります。

◆作業開始前に、下記内容について、【はい→○・いいえ→×】を記入してください。

(2)(3)(4)は健康チャレンジ8の項目です。その他の項目も一緒に意識してみましょう。

- ・適正体重: BMI25未満
- ・間食: 夕食後、寝るまでの間食は週2日以下。
- ・運動: 1日30分以上の運動を週1日以上。
- ・禁煙: 禁煙している。
- ・ストレス: 多いほうではない。

※注意事項(組長・GMの皆様)

帳票使用時、チェック内容が他の人の目に触れる場合、本人に説明いただき、同意の下でご使用ください。本人の了承が得られた上で、本人の自筆で名前

	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	AM	PM														

(1) 体調確認

- ①めまいはないですか？
- ②普段より汗の量は多くないですか？
- ③頭痛、吐き気はないですか？
- ④風邪の様な症状はないですか？
- ⑤下痢はないですか？
- ⑥筋肉の硬直やけいれんはないですか？

(2) 朝食: 就業時間前に食事を摂取しましたか？

(3) 飲酒: 前日の飲酒量は飲まないか、1合までですか？

(4) 睡眠: 前日は熟睡できましたか？

(すっきり目覚めましたか？)

組長・GM確認

工長・室長確認

<本人>

記入

<組長・GM>

- ・1回/日 本人のチェックをご確認ください。
- ・①～⑥に×があれば、健康管理室へご相談ください。
- ・(2)～(4)に×が2日以上続いた場合、指導をお願いします。

<工長・室長>

- ・1回/週 本人のチェックをご確認ください。
- ・本人のフォローをお願いします。

徹底事項

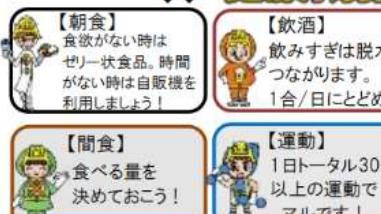
1. 勤務時間中は推奨として、500ml～1000ml/日の水分(0.1%～0.2%の塩分含む)を摂取しましょう。(例:スポーツ飲料等)

2. 頭痛、めまい、吐き気、立ちくらみ等、体調不良を感じたら、遠慮せず、すぐに上司に相談しましょう。

3. 万が一発生した場合、涼しい環境へ避難、脱衣と冷却、水分・塩分補給を実施し、連絡。⇒各事業場、健康管理室へ連絡又は、夜間休日で公設救急車出動が必要な時は、警備室へ連絡。

帳票ルート: 本人記入⇒組長・GM確認(1回/日)⇒工長・室長確認(1回/週)⇒各職場で保管(保管期間6ヶ月)

健康チャレンジ8



ワンポイントアドバイス

【睡眠】

【適正体重】

(1) 体調確認

- ①めまいはないですか？
- ②普段より汗の量は多くないですか？
- ③頭痛、吐き気はないですか？
- ④風邪の様な症状はないですか？
- ⑤下痢はないですか？
- ⑥筋肉の硬直やけいれんはないですか？
- (2) 朝食: 就業時間前に食事を摂取しましたか？
- (3) 飲酒: 前日の飲酒量は飲まないか、1合までですか？
- (4) 睡眠: 前日は熟睡できましたか？
(すっきり目覚めましたか？)

1-4:健康管理の充実（日々の体調確認、就業配慮等）

所属部署	部	課	G・組	月	熱中症予防 健康自己管理一覧												期間：5/1～9/30
<p>◆熱中症・夏期体調不良の防止には、日々の健康習慣がとても重要です。 特に、朝食・飲酒・睡眠の生活習慣を整えることが予防へつながります。</p> <p>◆作業開始前に、下記①～④の内容について、該当かを○/×で記入してください。</p> <p>※注意事項(組長・GMの皆様) 帳票使用時、チェック内容が他の人の目に触れる場合、本人に説明いただき、同意の下でご使用ください。本人の了承が得られた上で、本人の自筆で名前を記入するようにしてください。</p>																	
<p>【チェック項目】</p> <p>①体調は良いですか？ ②朝食：就業時間前に食事を摂取しましたか？ ③飲酒：前日の飲酒量は飲まないか、1合までですか？ ④睡眠：前日は熟睡できましたか？(すっきり目覚めましたか？)</p> <p>②③④は健康チャレンジ8の項目です。その他の項目も一緒に意識してみましょう。</p> <p>・適正体重：BMI25未満 ・間食：夕食後、寝るまでの間食は週2日以下。 ・運動：1日30分以上の運動を週1日以上。 ・禁煙：禁煙している。 ・ストレス：多いほうではない。</p>																	
																	
1.	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	
2.	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	
3.	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	
4.	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	
5.	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	
6.	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	
7.	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	
8.	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	
9.	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	
10.	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	
11.	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	
12.	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	
13.	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	
14.	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	
15.	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	
組長・GM確認	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	
工長・室長確認	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	
<本人> 記入	<組長・GM>、1回/日 本人のチェックをご確認ください。 ・①に×がついた場合は、体調確認をお願いします。状況によっては健康管理室へご相談ください。 ・②～④に×が2日以上続いた場合は、指導をお願いします。												<工長・室長> ・1回/週 本人のチェックをご確認ください。 ・部下のフォローをお願いします。				

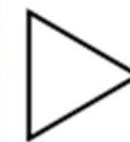
帳票ルート：本人記入⇒組長・GM確認(1回/日)⇒工長・室長確認(1回/週)⇒各職場で保管(保管期間6ヶ月)

1-5:個人を冷やす手段の充実

- 冷却機能付き空調服の導入
- ドライアイスジャケットの導入
- 社内自動販売機での飲料購入費用補助
- アイススラリーの使用 等



未着用 37°C
(身体表面温度)



着用 28°C
(身体表面温度)

1-5:個人を冷やす手段の充実

アイススラリーの使用

A事業所

鋳造、エンジン組立 etc



B事業所

車輌製造、組立 etc



2:2次予防(早期発見、早期対応)

2-0:すばやく搬送するには(応急処置フロー)

熱中症の応急処置フロー

★熱中症を疑う症状がある場合は、下記フローに応じ対応する。

判断が出来ない場合は健康琳^アトセンタ (6841) へ連絡

① 热中症を疑う症状がありますか？

めまい・失神・筋肉痛・筋肉の硬直・頭痛・吐き気・嘔吐・倦怠感
大量の発汗 (Tシャツに白く塩がういている)・気分の不快感・
意識障害 (返答がおかしい)・けいれん・高体温
・手足の運動障害 (真っすぐ歩けない 等)

熱中症は
死に至るケースが
あるため要注意！

はい

② 意識はありますか？

(掛けに反応しない)

はい

・涼しい場所へ避難し、衣服を
ゆるめ身体を冷やす(足を高くする)
・着替えがある場合、着替えさせる

いいえ

保安課へ救急車を
要請し、応急処置開始

ポイント

・濡れタオルで身体を
湿らせ、うちわ、扇風機
等で蒸発させる
※気化熱で冷やすのが
最も有効！
・深部体温で40°Cを
超えると全身けいれん、
血流が止まらなくなる

救急車が来るまで
職場で対応

・涼しい場所へ避難し、衣服を
ゆるめ身体を冷やす(足を高くする)
※冷やしすぎに注意！

【田原保安連絡先】

119

会社固定電話(内線): 0119

個人携帯(外線):

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

0119

2:2次予防(早期発見、早期対応)

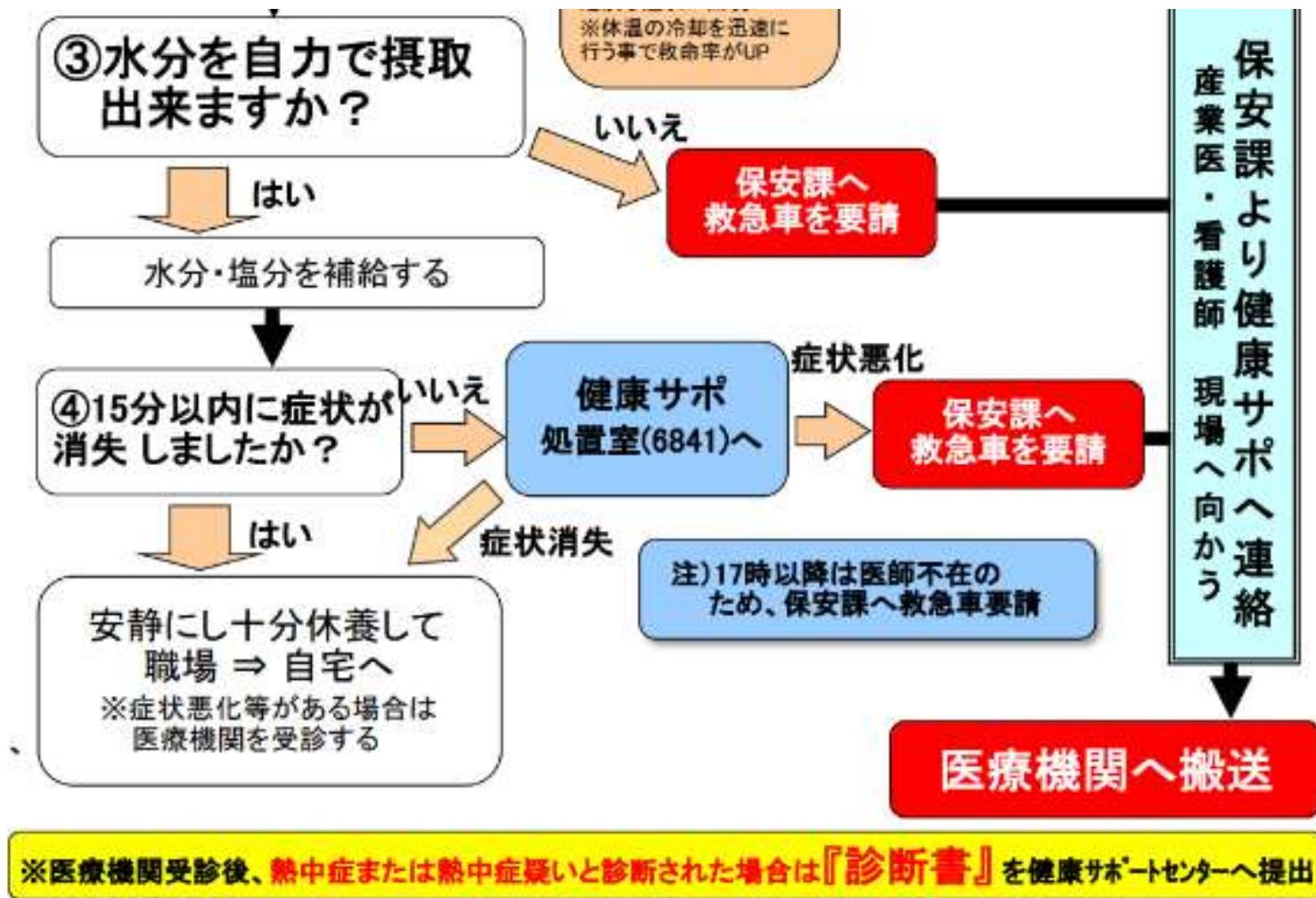
2-0:すばやく搬送するには(応急処置フロー)

帰宅後の連絡が大切

【寮生】
寮務員による声掛け、見回り、急変時の対応と連絡方法。

【近親者】
病状のご説明と近くの医療機関の確認。搬送・報告のお願い。

【おひとり】
職場上司による定期確認と万が一の対応準備。

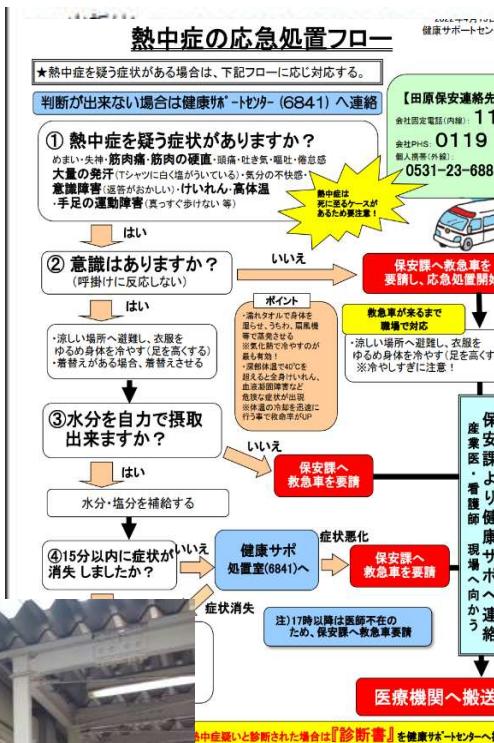


2:2次予防(早期発見、早期対応)

2-0:すばやく搬送するには(「お客様カード」を利用予定案)

構内入場者様への
アナウンスも大切

入場門での確実
な配布



**トヨタ構内
お客様安全カード**

トリ線

トヨタ自動車(株) 安全衛生基本理念

安全な作業
確実な作業
危険な作業

安全な作業は、作業の入口であります。
わたくしらは、まず、レフカット、や
入口を通過します。

稲田英二

本カードの内容をご確認頂
トヨタ構内での安全ルール
ご承知頂いて、ケガ防止
お役立て頂きます様、お願ひ致
★確認・署名頂き、入門時にご提示をお
きめなさい

署名欄

記入日: 年 月
会社名:
氏名:
人事・配属部署
有効期限: 上記記入日

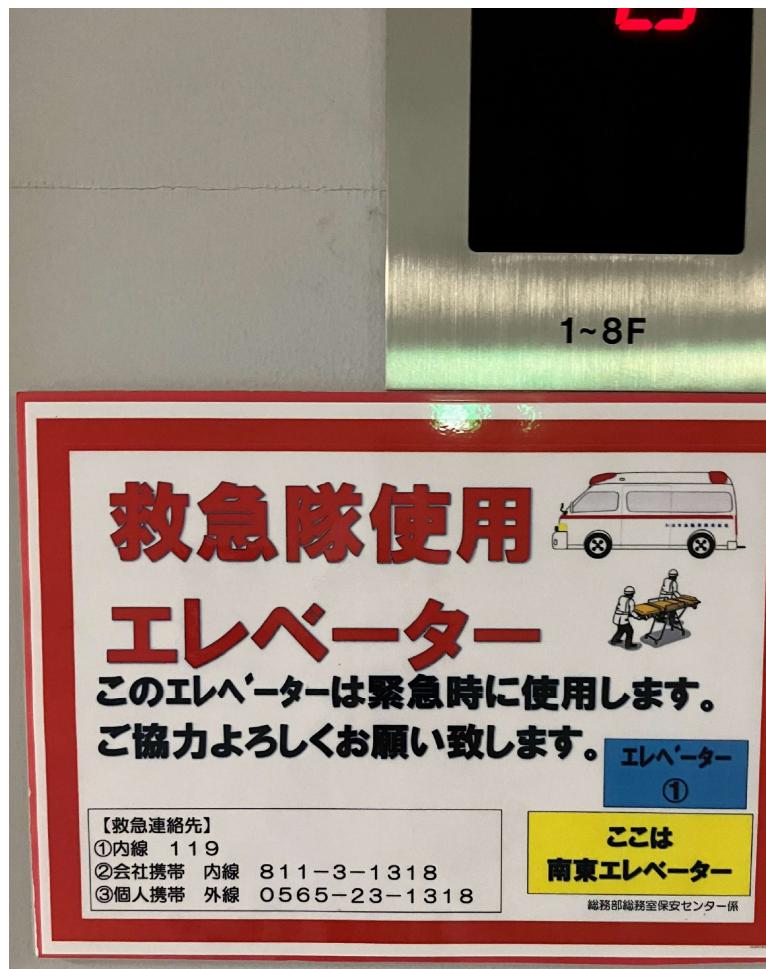
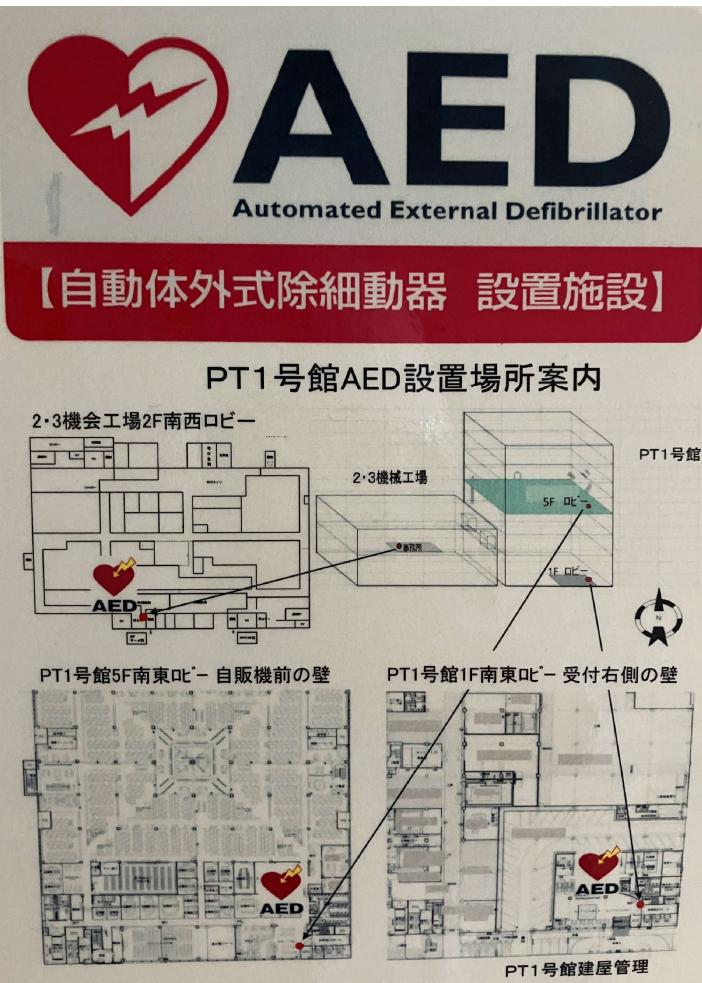
構内での安全の基本

- 歩行時は、「歩・ケ・手・な・し」の実践をお願いします。
- 構内では歩行帯の歩行をお願いします。
- 小走りしない様お願いします。
- 道路横断時はお互いに譲り合い、安全を確認して横断をお願いします。
- 工場等の現場には決められた服装で立ち入る様、お願ひします。
(ヘルメット、帽子、保護メガネ等の着用)
- 歩行喫煙及び指定場所以外の喫煙はご遠慮下さい。
- 機密管理上、許可なく写真撮影(携帯で撮影等)はご遠慮下さい。
- 許可なく設備や物品、完成車両等に手を触れない様、お願ひします。
- 構内への車両乗入の際は、屋外30km/h未満、屋内10km/h未満の遵守をお願いします。
※ただし場所により決められた屋外・屋内制限速度がある場合はそちらをお守り下さい。
- 緊急時は直ちに面会者もしくはお近くの保安係にご連絡をお願いします。
※災害発生時はすみやかにトヨタ側担当者にご一報頂きます様お願いします。

2:2次予防(早期発見、早期対応)

2-1:救急隊到着まで

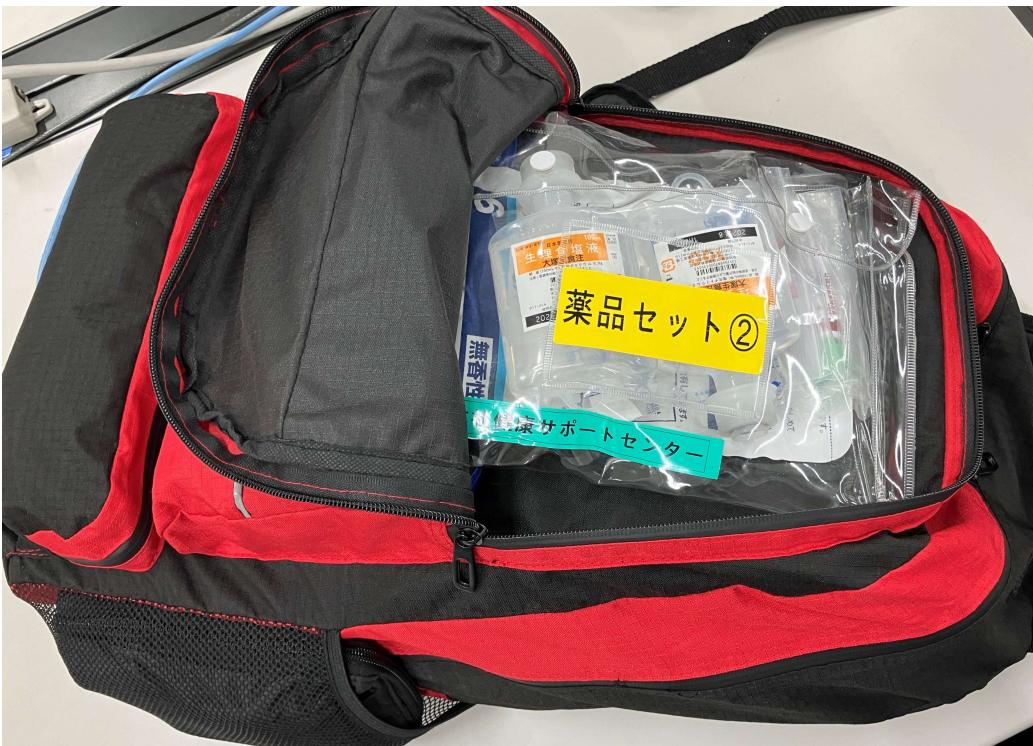
工場マップ、救急車停車場所



2:2次予防(早期発見、早期対応)

2-1:救急隊到着まで

2-2:すばやく搬送するには(Dr/Nsバック)



2:2次予防(早期発見、早期対応)

2-1:各職場でのフロー図が大切

